

短歌の基本を知ろう

短歌の形

問1 正しいものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

短歌の基本の形を確認しましょう。〔五音〕→〔七音〕→〔五音〕→〔七音〕→〔七音〕の五つのまとまりを「句」といい、合わせて三十一音になるのが基本です。短歌の基本の形として正しいものはどれですか。

- ア 五・七・五・七・七
イ 五・五・七・七
ウ 七・五・七・五・七

解答 ア

補足：短歌は五・七・五・七・七の五つの句で詠むのが基本です。

問2 ことばで答えなさい。

短歌をつくる五つのまとまりを何といいますか。

解答 句

補足：五・七・五・七・七のそれぞれのまとまりを句といいます。

音数の数え方

問3 音数を数字で答えなさい。

音数の数え方を確認しましょう。小さい「や・ゆ・よ」は前の文字と合わせて1音、「っ」「ん」「一」はそれぞれ1音と数えます。「きょう」は何音ですか。

解答 2

補足：「きょ」で1音、「う」で1音なので2音です。小さい「よ」は前の「き」と合わせて1音と数えます。

情景と心情

問4 情景を表しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

短歌を読むときは、〔見えるもの・起きていること〕→情景、〔感じていること〕→心情、〔言い方の工夫〕→表現と整理すると読み取りやすくなります。次のうち、目に見える様子や場面である「情景」を表しているものはどれですか。

- ア 夕焼けの道を一人で歩く
イ 少しさびしい気持ちになる
ウ 明日が楽しみだと思う

解答 ア

補足：情景は目に見えるものや起きていることです。イとウは心情を表しています。